

令和七年度ふくしま絆ふれあい支援事業「ふくしまを十七字で奏でよう」  
つながる想い 未来へ届ける 十七字  
「絆部門」 県北域内優秀作品集

県入賞作品（最優秀賞）

「話したい」 あなたの心を ノックする

母 大内 かおり

「聞かないで」 でもそばにいて お母さん

大玉中学校 二年 大内 一花

県入賞作品（優秀賞）

むちむちだ おとうこのうで ちぎりパン

矢野目小学校 二年 宗像 えま

ふれないで やつと寝たのに 起こしたな

母 宗像 清夏

ママいない ねえねにだっこ ママのにおい

玉井幼稚園 年長 國分 凰生

かわいいな 勉強推し活 後回し

大玉中学校 一年 國分 穂乃花

各賞を受賞された皆様  
おめでとうございます



県北教育事務所  
ホームページ



県二次選考通過作品

きいててね 校歌をふくよ ピアニカで

聴かせてよ 懐かしき曲 その姿

がんばるぞ ぼくの目標 逆上がり

手本見せ 親のメンツを保つ朝

お父さん この木で虫とり したのかな

ひみつ基地 今は息子と遊ぶ場所

お手伝い たまねぎきつたら なみだ出た

包丁を 握る我が子に 目が潤む

花火だよ じいじおかえり 見えるかな

むかえ火の 花火もつ手が ふるえる

県北域内奨励作品

あそびたい かえりたくない これさいご

本当に これで最後ね 何回目

掛け時計 とまっているよと 直すぼく

ときさむ 息子を見上げ ありがとう

あまずっぱい ばあばのトマト たべつくす

孫のため 育てたトマトで 笑顔実る

おいしいな ままがつくった たまごやき

お弁当 のそきに来る顔 愛しくて

お出かけは ママとおそろのマニキュアで

休日に 娘とならんで ネイル盛る

目を覚ます 起こしにくるまで ねむりたい

眠そう な 我が子を起こす 卵焼き

しのびあし 今日は私が 朝ごはん

身をかがめ うすめをあけて 気づかぬふり

かぶとむし ばななやせりい よくたべる

かぶとむし 育てているの 私です

ままのみみ ねむくなったら さわりたい

兄弟で 耳の取り合い いつまでか

お手伝い くつをならべて ママを待つ

仕事終え 帰宅をすると 気持ち良い

懐かしい ばあばの声を 思い出す

炎天下 お経を聞いた 三回忌

ホウセンカ 花の形 ふしぎだな

実物見 言葉につまる 形かな

夏休み なんでもいいよ 昼ご飯

給食の ありがたさ感じる 台所

食べたいな ばあばが作った ひきなすり

受け継ぐよ みんな大好き 祖母の味

母の背を 越えたのかな 僕の影

影を見て 息子の肩が 並んでる

初めての お古は母の お洋服

気付いたら 目線の高さ 一緒だね

お手伝い 今日のごはんは ぼくがたく

ありがとう 鎌田小学校三年 寒河江 倅絆

まかせてよ ぼくはじいじの 道案内

次はここ 先行く孫は 私のSP

たよりたい 親に聞くより タブレット

どう解くの？ いいとこ見せたい 夏ドリル

おかしいな がらがらするよ ぼくの声

おめでとう 矢野目小学校六年 藤原 崇博

「これ、わたし？」むかしのママと おなじかお

瓜二つ 思い出話に 花が咲く

ありがとう きれいに畳んだ ユニフォーム

大丈夫 信じて強気で いってこい

ばんごはん 今日の出来ごと ほうこくがっせん

順番に 話途切れず 片づかず

ばあちゃん メモしていくが 買いわすれ

孫連れて 買い物行くよ メモ替わり

かつこいい 父のせなかを おいかける

野馬追で 息子の初陣 見届けたい

暑い夏 かき氷食べ クールダウン

一瞬ね 伊達の暑さは 伊達じゃない

夏ホテル たのしいけれど いえがすき

子のためと 言いつつ自分が 希望の宿

新聞に 格上チームでかかど

切り抜いて 心を燃やし 次は勝て

ばあちゃんに 気持ち寄り添い 盆迎え

ありがとう 何より嬉しい その思い

打席立つ いつもと違う 兄の顔

鳴り響く 保原小学校六年 長谷川 奈心

いいところ みんなでほめあう 夜ご飯

ほめられて 笑顔あふれる 親も子も

子のね顔 変わらぬいとしさ ぼほなでる

またなでる しょうがないから ねてるふり

虫とりが したくてついでに のうさぎよう

後継者 今はまだまだ さなぎです

一才の 妹のお世話 任せてね

お姉ちゃん 抱っこが上達 いつの間にか

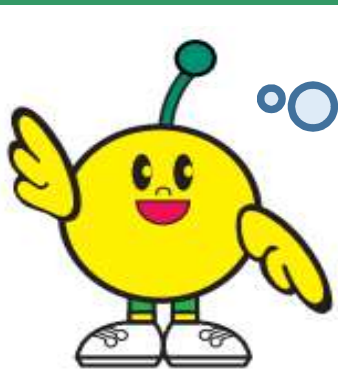
ばばがいい ばばとあそんで ばばとねる

今だけの 伊達崎小学校一年 かみしめる

にいにまっつて ぼくもいっしょに つれてつて 伊達崎小学校 一年 石幡 明希斗 一年生 兄の後ろを おいかける 母 石幡 詩帆 「うますぎる。」いいあんばいの しおむすび 伊達崎小学校 三年 亀岡 一華 「うまいだろ。」見てるこちらも 満腹だ 祖母 亀岡 静子 おねえちゃん コートのうえでは ベつじんだ 国見小学校 一年 目黒 愛綾 みていてね 私が試合で 勝つ姿 県北中学校 三年 目黒 幸愛 まamiたい 包丁とんとん やりたいの 二本松南小学校 一年 二階堂 まつり ヒヤヒヤと 手を切らないか 見てられぬ 母 二階堂 恵利菜 バスケット 運動全部 おれ本気 二本松南小学校 五年 阿部 諒登 本気でも ケータイゲームに 勝てません 父 阿部 智志 ランドセル わすれあされる 母の顔 二本松南小学校 五年 埴淵 暉人 我が息子 何しに行くの 学校に 母 埴淵 恵梨 安達太良の 頂目指して つつ走れ 二本松南小学校 六年 菅野 慎也 おいてくな 母ちゃん速く 歩けない 母 菅野 寿恵 もう暑日で 防具の中は 汗だらけ 二本松南小学校 六年 東澤 煌人 竹刀振る 子を見る親も 滝の汗 父 東澤 計昌 いつの日も 愛のこもった 母の味 二本松南小学校 六年 三浦 一真 おいしいの 一言だけで むくわれる 母 三浦 瞳 ねる前に 必ず言うよ あいしてる 二本松北小学校 一年 佐藤 陽 あいしてる 言うまでねない しつこいよ 母 佐藤 珠里 あつひは プールであそび すずんだよ 二本松北小学校 一年 國分 梨緒花 あつひは プールを出して さらに汗 母 國分 優稀子 ごまあぶら きいたピーマン おいしいね 二本松北小学校 二年 こせき さよ ピーマンが にがてなパパは まだ子ども 母 小関 文 やっと来た いっぱい遊ぶぞ 夏休み 塩沢小学校 五年 阿部 陽愛 ついに来た 怒らす過ごすぞ 夏休み 母 阿部 舞子 父さんの いびき恐しい 一人部屋 塩沢小学校 六年 菅野 樹 大の字の 息子の寝相 見納めか 父 菅野 寛 ありがとう 言いたいけれど はずかしい 塩沢小学校 六年 加藤 悠人 分かってる 心で伝えた ありがとう 母 加藤 幸子	ねるときは ママのとなりの とりあいだ 岳下小学校 三年 渡辺 怜衣華 さびしいな パパのとなり あいてるよ 父 渡辺 祐太 もう大人 一人でねるよ 今日からは 岳下小学校 五年 遠藤 羽菜 もう少し 川の字一緒に 書きたいな 父 遠藤 昌史 おこづかい もらえなくても お手伝い 岳下小学校 六年 中村 祐成 お手伝い 君の気持ちに おこづかい 父 中村 光輝 父の米 一つぶのこさず いただきます 原瀬小学校 四年 渡辺 葵翔 子のために 汗水たらし 米作る 父 渡辺 大和 ふるあらい せんざいつけて あらったよ 杉田小学校 二年 國分 美亜 帰ったら 成長感じ 浸る風呂 母 國分 由佳 鬼ごっこ ママのせなかには すくたっち 杉田小学校 三年 小泉 輝空 子の背中 なかなか遠いぞ 鬼ごっこ 母 小泉 三起子 ゲーム時間 もつとのばして お母さん 杉田小学校 四年 大館 暖 それはダメ その分勉強 ちゃんとして 母 大館 智美 楽しみだ べんとうの日は おなかすく 杉田小学校 四年 高橋 賢 空っぽの お弁当箱 母嬉しい 母 高橋 静花 だいじょうぶ その一言で すくわれる 杉田小学校 五年 鈴木 花梨 寄り添って かけることばは 魔法だね 母 鈴木 いづみ 心地いい 父は私の だきまくら 杉田小学校 五年 佐藤 美結 気づいてる？ 娘は父の 抱き枕 父 佐藤 宣裕 朝ごはん 玉子焼きだった スクランブル 杉田小学校 六年 渡邊 心夏 大丈夫 甘い味付 母の味 母 渡邊 奈都美 ばあちゃんの 歩く歩幅に 合わせるよ 石井小学校 六年 穂積 詩月 歩くのが おそくてごめん 孫たちよ 祖母 渡辺 泰子 じいのまね わるいところも まねするぞ 大平小学校 一年 齋藤 充希 まねるなら じいのよいところ まごたちよ 祖父 松本 佳充 むずかしい ごめんなさいが でてこない 大平小学校 二年 遠藤 陽向詩 仲直り 姉弟げんかで 得る学び 母 遠藤 悦美 しめくたいを きけばおしえて くれるパパ 大平小学校 二年 本田 蒼乃 こっそりと スマホで宿題 答え知る 父 本田 竜也	キャッチボール やさしくなげてね お兄ちゃん 大平小学校 四年 松本 遥真 弟の 成長願ひ 豪速球 福島東高等学校 二年 松本 大衛 みていてね 上手くなつたよ 包み方 大平小学校 五年 佐藤 平来 「上手だね」 ぎょうざの形 ばばそっくり 母 佐藤 菜美 おぼん玉 あればあるほど うれしいな 油井小学校 三年 畠山 悠生 親はまだ 口を出したい 使い道 父 畠山 真一 プロッコーリ 一つでいいよ お母さん 油井小学校 五年 鈴木 ひより あらウフフ… ごめんあそばせ 三つ詰め 母 鈴木 綾子 ママもみて せみがからから 出てきたよ 小浜小学校 三年 さとう あおと 懸命に 生きる命 見守る子 母 佐藤 里美 お母さん 早く布団で 寝るんだよ 新殿小学校 六年 本田 姫咲 わかったよ どちらが親か わからない 母 本田 久美子 エアコンと 動画が友達 夏休み 東和小学校 二年 佐藤 希空 時代かな 家から出れない 夏休み 母 佐藤 祥穂 本の世界 ぼくはいつでも 旅に出る 東和小学校 三年 菅野 航生 読み聞かせ 積日の実 今に得る 母 菅野 奈緒 にらめっこ おなじかおして わらいあう 大山小学校 一年 本田 楓花 笑い声 重ねた日々が 絆よぶ 母 本田 由美 わたし持つ 母の手つだい まかせとけ 大山小学校 三年 佐藤 杏南 たまごあり 小さなヒーロー 母緊張 母 佐藤 沙織 夜ご飯 まごころこめて 作ったよ 大山小学校 六年 國分 穂果 味もよし 心も満腹 愛の飯 父 國分 孝裕 パンよりも お米の方が 大すきた 大山小学校 六年 菅野 風雅 食べざかり 米高騰で 大変だ 母 菅野 紗織 おふろには ひとりではいれる だいじょうぶ 玉井小学校 一年 大内 沙那 喜びと 寂しさ混じる 子の成長 母 大内 友香 ひさしぶり みてみてやっと はがぬけた 玉井小学校 一年 阿部 桜大 楽しみは 孫の成長 歯抜け顔 祖母 石川 ひとみ まま聞いて まま見てて まま来てね 玉井小学校 一年 橋本 蓮央 子育ては 言われるうちが 幸せね 母 橋本 千夏	振り向くと 窓から笑顔 見えてるよ 玉井小学校 一年 荒川 瑠々寧 笑顔見て さあがんばるぞ 仕事行く 父 荒川 義也 これよんで ぼくがえらぶよ きょうのえほん 玉井小学校 一年 朽木 陽仁 寝る前に ふたりで飛び込む 本の世界 母 朽木 裕美 お弁当 ママのがんばり いただきます 本宮小学校 五年 渡邊 天丸 空っぽの 弁当箱に 笑顔咲く 母 渡邊 ひかり ねるじかん ままのとなりは わたしだよ 本宮まゆみ小学校 一年 川名 かなた ふと起きて おんなじ寝相 姉妹だね 母 川名 恵 おてつだい ママがとなりで わらってる 本宮まゆみ小学校 二年 守矢 一正 おてつだい となりで感じる 子の成長 母 守矢 麻希 母のため ピカピカ風呂 ぼくのしごと 本宮まゆみ小学校 三年 菅野 愛翔 ゴシゴシと 響く音にも 愛感じ 母 菅野 春香 だっこして 幸せ感じる 重さでしょ 本宮まゆみ小学校 四年 川名 和葉 四年生 いつまで抱っこ可 楽しみだ 母 川名 恵 につこりと ママに見せたい トロフィーを 本宮まゆみ小学校 四年 渡辺 友菜 勝つたよと 駆け寄る笑顔 まぶしすぎ 母 渡辺 和佳子 うですもう いつかは勝つぞ 父さんに 本宮まゆみ小学校 四年 佐藤 快音 まだ勝てた いつもヒヤヒヤ 勝負する 父 佐藤 智 くやしいな 野球対決 まだ負けた 本宮まゆみ小学校 五年 山本 紳詠 嬉しいな 初めて打たれた ホムラン 父 山本 繁 ゲーム機と 母の充電 忘れない 五百川小学校 四年 鈴木 崇朔 辛くても 我が子の応援 乗り切れる 母 鈴木 弘美 お兄ちゃん 帰省うれしい 夏休み 五百川小学校 五年 國分 歩希 弟よ お土産だろっ 目的は 日本大学文理学部 一年 國分 獅王 うれしいな シュートをきめて ママを見る 岩根小学校 二年 さとう すばる ナイッシュー！ 笑顔で目が合い うれしいな 母 佐藤 美帆 おいしいな ばあばがつくった ツナごはん 岩根小学校 二年 坂本 逞真 たのもしや 食べるごはんの 量多し 祖母 伊藤 早苗 ママみてと みあげた空に 花火さく 岩根小学校 二年 松本 絢登 なつかしき 花火の音に ママ抱っこ 母 松本 いずみ
---	--	--	---



夏休み お花に水あげ お手つだい 岩根小学校 三年 添田 彩希 ベッドから 孫の気遣い 感謝する 祖母 宗形 美紀子 妹と二人で行くよ だがし屋に 岩根小学校 四年 佐々 姫葵 心配だ 気付けばパパも 駄菓子屋に 父 佐々 将継 ついにきた やつと会えるぞ 祖父祖母と 岩根小学校 五年 渡邊 麗 里帰り 娘の笑顔が 親孝行 父 渡邊 満 募金箱 見つけるたびに 寄付をする 岩根小学校 五年 石橋 諒大 その姿 優しい気持ち 誇りです 母 石橋 吏華 反抗期 ご飯の時は 忘れてる 岩根小学校 六年 齋藤 虹 美味しいよ いっぱい食べる 君が好き 母 齋藤 香里 暑くても 絶対歩く 通学路 糠沢小学校 四年 三瓶 詩花 日焼け顔 心も体も 逞しく 父 三瓶 慎太郎 ぼくの家族 一番星の お母さん 糠沢小学校 五年 矢島 義崇 ありがとう 一緒に星座を 作ろうね 母 矢島 智恵美 腰ふんで いつまでふむの 親の腰 和田小学校 五年 日下部 珠良 いつまでも 踏んでほしいよ この気持ち 父 日下部 良平 たまごやき そぼが作るの 世界一 白岩小学校 四年 橋本 怜花 玉子焼 笑顔に勝る 味はなし 祖母 井戸川 つつ子 初ヒット 母に思いを 三回打 白岩小学校 五年 橋本 大虎 うれし泣き 三壺駆ける 子の思い 母 橋本 絵美 たくさんの いのちそだてた 虫・花・メダカ 福島大学附属小学校 四年 太田 雄琉 ずかんにて まなびなおし 子にかんしゃ 母 太田 梨絵 手をつなぎ 小さき段差 祖母と越え 蓬萊中学校 一年 大多和 千広 頼もしき 孫の手握る 散歩道 祖母 高橋 千恵子 風を切り 自転車通学 胸高鳴る 川俣中学校 一年 齋藤 優希 子の安全 背中見送り 心願す 母 齋藤 美穂 待ったなし 勝つてやるぞと うでずもう 川俣中学校 一年 森 魁心 久々に 触れたその手に 母笑顔 母 森 美希 成長期 沢山食べて 母を越す 川俣中学校 一年 黒澤 希夢 重なるよ 巣からはみ出す 子つばめに 母 黒澤 沙希子	夏休み 部活勉強 お手伝い 川俣中学校 一年 齋藤 彩葉 フル稼働 掃除洗濯 三度飯 母 齋藤 佳菜恵 声色で すく丸わかり 母の機嫌 川俣中学校 三年 齋藤 寿成 きょうだい 姉に 伝えよ君が 司令塔 母 齋藤 美紗子 アナウンス 静まるホール 挑む夏コン 伊達中学校 二年 吉田 優希 希望乗せ 家族で見つめる 静まるホール 母 吉田 かおり 風つかみ 汗と想いを 纏へと 伊達中学校 三年 高橋 乙希 つなぐたび 心が一つ 強くなる 伊達中学校 二年 吉田 想那 ありがとう 私の想いが 乗ったトス 伊達中学校 三年 鈴木 郁美 打ち切った トスを今度は あげる番 伊達中学校 三年 大竹 蓮愛 夏休み 暇だ暇だと 電話する 伊達中学校 三年 小野 志龍 夏休み 忙しいと でんわする 伊達中学校 三年 佐藤 世渚 一周目 駆ける群れゆく 夏の風 伊達中学校 三年 遠藤 敏徳 炎天下 記録より子の 無事願う 母 遠藤 久子 それちがう 母のセンスは 古すぎる 月館学園中学校 一年 古川 千晴 似合ってる 本当はちよっと うらやましい 母 古川 佳奈 家の中 足音分かる 誰なのか 月館学園中学校 三年 森 悠斗 静かだと 少し足りない 家の中 母 森 あゆみ 目覚めても 起きてのことは 待つ私 釧路中学校 一年 渡邊 悠姫 なぜかしら 勝手に言葉 出してしまう 祖母 渡邊 裕子 お手伝い？ スプリングラーで 水遊び 東北中学校 一年 堀江 寛太 桃畑 連日猛暑で 水不足 母 堀江 佳奈子 目覚ましが ほこりをかぶった 夏休み 東北中学校 三年 寒河江 智也 深夜まで コツコツ響く パンの音 母 寒河江 絵理 あせばむ手 しそを揉み込む 午後の風 岩代中学校 三年 門馬 文佳 土用干す となりに伸びし 細き指 母 門馬 佳織 フタ開けて 手伝い母と 作る手料理 大玉中学校 一年 佐藤 昊 開かぬフタ 息子に頼み 並ぶキッチン 母 佐藤 史江 かえったよ 家族のもとへ 弾む音 大玉中学校 二年 野内 陸久 耳すまし まだかまだかと 待つ音色 父 野内 久幸	十五の私 志望校目掛けて 一直線 大玉中学校 三年 角田 結麻 娘の誕辰 毎年感じる 烏兎 <sup>うさぎ</sup> 匆匆 父 角田 光洋 トマト赤く 祖父と笑った 鉢の夏 本宮第二中学校 三年 正木 愛結 小鉢越し 笑う孫見る 夏まぶし 祖父 正木 美千男 稽古終え 叔父の偉大さ 身に沁みる 本宮第二中学校 三年 吉田 友也 負けまいと 挑む姿勢に 胸をかくす 東北相撲クラブ 叔父 斎藤 健 釣りたいね 同じ目線で 海を見る 本宮第二中学校 三年 石川 陽斗 海を見て 後どのくらい 釣り出来る 父 石川 芳政 右曲がれ まっすぐ行けと 道案内 本宮第二中学校 三年 矢吹 光太郎 子の合図 必ず着くよ 目的地 母 矢吹 江里子 晩ごはん 労い込めて 召し上がれ 本宮第二中学校 三年 遠藤 尋香 茶碗持ち 労い返す うまいぞと 父 遠藤 実 県大会 夢のピッチに 立つ夏だ 本宮第二中学校 三年 斎藤 悠里 初出場 君が守った 夢の舞台 母 斎藤 可奈子 叶えたい 全国の夢 サクソフォン 本宮第二中学校 三年 矢嶋 吉汰 息子行く 音色を武器に 夢の先 母 矢嶋 美穂 夏の風 プラスバンドと 共に吹く 白沢中学校 二年 遠藤 奈々 流れゆく 夏の音色と 我が涙 母 遠藤 幸恵 秋晴れに 届け音色よ もう一度 福島大学附属中学校 二年 山内 櫻子 声の波 心を結び 最後まで 福島大学附属中学校 二年 牛坂 心優 ただいまと 私が帰る 場所はここ 福島大学附属中学校 二年 鈴木 暉穂子 白球を 追う娘が帰宅 どのくらい 母 鈴木 聡子 祖母の手に 刻まれししわ 米寿かな 福島大学附属中学校 二年 菊地 奏帆 孫の手に ひかれ坂道 夢語る 祖母 渡邊 トヨミ 帰り道 いっぱい話して 笑ったね 福島大学附属中学校 三年 待井 美桜 沈黙も 絆の証 仲の良さ 福島大学附属中学校 三年 霜山 結愛 反抗期 それでもぼつり ただいまと 福島大学附属中学校 三年 鷲田 一華 ただいまが 聞ければ今日も 満点日 母 鷲田 純子 おはようが 毎日言える 幸せを 福島工業高等学校 一年 小野 大夢 子の夢へ 一歩進んだ ホッとする 母 小野 由香里	香り立つ 台所から 母の声 福島工業高等学校 一年 齋藤 遥陽 香をたて 君の一日 包みたい 母 齋藤 明香 ぎりぎりまで ドアの向こうに 手をふって 福島工業高等学校 一年 渡部 優里 「いつてきます」 至福の言葉 空ひびく 母 渡部 幸恵 絆結び 未来へ走る 夏の道 福島工業高等学校 一年 三瓶 碧人 汗光る 同じゴールを 駆けぬけて 福島工業高等学校 一年 嶋原 慎 仙台へ フックオフめぐり 楽しかった だて支援学校 中学部 二年 加藤 優和 七夕の 願いを叶えて あげたいな 母 加藤 美幸
---	---	--	--



人と人との温かな心のつながりを、どの作品からも感じ取ることができました。これからも、思いや感動を言葉にし、言葉のアルバムを増やしていきましょう！

令和7年度 ふくしま絆ふれあい支援事業「ふくしまを十七字で奏でよう」県北域内選考作品集は、県北教育事務所のホームページでも御覧いただけます。

